

平成23年度収支予算

| 収入の部 | | (単位:円) |
|---------------|--|------------|
| 会費収入 | | 340,000 |
| 事業収入 | | 1,390,000 |
| 補助金等収入 | | 10,248,000 |
| 雑収入 | | 24,000 |
| 繰入金 | | 742,000 |
| 収入計 | | 12,744,000 |
| 支出の部 | | (単位:円) |
| 事業費支出 | | 6,759,000 |
| 主催事業 | | 4,196,000 |
| 生活コミュニケーション事業 | | 2,487,000 |
| 国際交流事業 | | 989,000 |
| 国際理解事業 | | 560,000 |
| 広報事業 | | 160,000 |
| 八王子市からの受託事業 | | 2,563,000 |
| 管理費支出 | | 5,935,000 |
| 人件費 | | 5,048,000 |
| 管理事務費 | | 887,000 |
| 予備費 | | 50,000 |
| 支出計 | | 12,744,000 |
| 収支差額 | | 0 |

○規約の改正の件

規約第4条(事業の種類)、第6条(入会)、第7条(会費)、第10条(除名)、第11条(役員及び定数)、第12条(選任)、第13条(職務)、第15条(役員解任)、第18条(総会の権能)、第19条(総会の開催)、第20条(総会の招集)、第21条(総会の議長)、第22条(総会の定足数)、第23条(総会での議決権等)、第24条(総会の議決)、第26条(理事会の権能)、第28条(理事会の議長)、第30条(理事会の議決)、第35条(事業計画及び収支予算)、第36条(暫定予算)、第37条(事業報告及び収支決算)、第39条(規約の変更)、附則(附則の追加と新設)の改正案について承認されました。

○年会費に関する規程、年会費の改定の件

年会費に関する規程案と規約第7条(会費)の規定による年会費は、平成24年4月1日より次の額とすることが承認されました。

| 個人会員年会費改定額 | | | |
|------------------------|--------|---------------------------|--------|
| 一般 | 2,000円 | 学生 | 1,000円 |
| (現行) | | (現行) | |
| 団体会員として登録している団体に所属の会員は | | 団体会員(学生のみ)の団体の所属している学生は免除 | |
| 1,000円 | | | |

○役員選任に関する規程の件

役員選任に関する規定案について承認され、平成23年5月29日から施行されることとなりました。

○役員候補者推薦委員会委員の選任の件

推薦委員候補者が承認されました。

なお、2つの動議「総会当日に入会した会員へ議決権を与えること及び現行規約を平成21年の規約に戻すこと」が提出されたが、反対多数により否決された。

世界のひとふれあいタイム

平成23年6月19日実施

今回のゲストのムサさんは、ガーナから来日して約25年が経過しました。現在は奥さんと9カ月のお子さんと日野市にお住まいで、生花市場で働いています。

今回の講演では、歴史から始まり様々な分野で体験した事を話して頂きました。



ムサ・ハムザさんと奥様

さてガーナは、金が大量に採掘されて、イギリス領のゴールドコーストと呼ばれ、その後独立し、現在はガーナ共和国となりました。また日本でもチョコレートが大変有名ですね。ガーナの国旗の横縞の色は、上から赤・黄・緑ですが、それぞれ独立のために流された血、

金、アフリカの草原を意味しているそうです。なお、ムサさんは日本で永住権を取得し、自分の名前もムサ(夢作)にしました。その頃はガーナに行っても「外国人」、日本でも「外国人」として扱われ、大変辛い思いをしたそうです。しかし自分の考えを行動に変え、ガーナを捨てて日本人になる事を決めました。

奥さんからは、カクロ(Kakuro・バナナ料理のお昼ご飯)について紹介がありました。

ムサさんのコンセプトは趣味を持って働く事で、「行き詰ったら裸になる」との事でした。親や兄弟愛が大切に、アフリカでは老人ホームはないそうです。また親のために子供が犠牲になる事は当たり前との事です。

ムサさんはアクセサリーを好み、花では勿忘草(わすれなぐさ)やハイビスカスが好きです。スポーツでは、合気道を通して、働きながら学校へ行きビザを取得しました。好きな言葉は「一期一会」との事でした。

さて話は変わってガーナ初代大統領で独立運動を指揮したエンクルマ氏は、アフリカの独立運動の父といわれました。1949年に、彼は会議人民党を結成、即時独立の要求を掲げ、ストライキなど強硬な政策を打ち出しました。穏健派によって逮捕されましたが、1951年の選挙で会議人民党は第一党となり、釈放され、1957年にゴールドコーストは、トーゴランドと共にガーナとしてイギリスより独立しました。本当に独立して良かったのか?個人(玉子)が先か、組織(壁)が先か議論が分かれますが、壁を乗り越えていかなければと言われていました。

最後に①民族の問題②宗教の問題③資源(金、材木)富の不平等について語っていただきました。

アフリカと言えば、私は約10年前、南アフリカに国際会議で行きました。自然に圧倒されましたが、本当に思いを一つにと当時から願ってやみません。

報告者:生山龍哉(世界のひとふれあいタイム委員)